



～チバリヨ～！浦高生！！～

浦高生の活躍は県内マスコミ等で頻繁に取り上げられています。が、それ以外にもたくさんの活動があり、特に私が応援に行った時に感じたことを紹介します。

9月1日(土)「第61回沖縄高校バスケット選手権大会」がありました。女子は1回戦久米島高校戦で見事勝利しました。特に目を引いたのは浦高バスケ女子のディフェンス力です。徹底したマークと接触の強さで相手を翻弄していました。また、男子も1回戦が久米島高校戦で、チームワークの良さが目立ちました。ピンチになっても声を掛け合い、形成を整えてたたみ掛けて勝利をつかみました。



9月3日(月)「第30回沖縄県高等学校席上揮毫大会」で書道部の生徒が参加しました。本大会の特徴として、開始2時間で作品を仕上げなければなりません。また、平成31年度全国高文祭佐賀大会への派遣が懸かっており大変過酷で緊張する大会です。その状況下で、2年生の國吉美佳が選考され全国派遣となりました。

9月8日(土)「第33回沖縄県高等学校対抗秋季陸上大会」がありました。本校陸上部が様々な種目に果敢に挑戦していました。他校のレベルが高く予選をなかなか通過することができませんでした。しかし、競技に向かう真摯な態度や競技前の緊張した表情はとてもカッコ良かったです。

9月9日(日)「第68回沖縄県高等学校野球秋季大会」は宮古工業戦でした。浦高が誇る3名のピッチャーで何とか3点で抑えましたが、宮古のピッチャーの調子も良く残念ながら1-3で敗れました。沖縄県はまさに群雄割拠の時代にあり、どこが勝ち上がっていくのかわからない状況です。

その他にも、様々な大会や発表会等が予定されています。みなさんも是非会場まで足を運び応援をお願いします。 校長

感動のキラ星祭

15日(土)16日(日)の両日に行われた本校が誇る2大行事のキラ星祭が行われました。

3年生の舞台は流石だなあと感じました。ひとり一人の役割を果たし、ひとつの作品を作り上げていて本当に素晴らしいかったです。



“一致団結”とはこういうことを言うんだと改めて認識し感動しました。

1, 2年生の出し物もそれぞれ工夫が施され、よく短期間で準備をしたものだと感心させられました。特に1年4組と2年3組の出し物で作成した遊具や装飾が、近隣の幼稚園の先生方の目に止まり「キラ星祭終了後にいただくことはできないか」という相談があったそうです。こんな嬉しいことがあるのでしょうか。

そして、後援会、PTAのみなさまも豚丼、スムージー、シフォンケーキ等を準備して盛り上げてくれました。同窓会、評議員のみなさまも忙しい中駆けつけてくれました。本当に感謝しています。

\*\*\*校長雑感\*\*\*

上記のとおり、浦高生は各分野、自分の立ち位置で頑張っている。現場に行かなければその時の感動や緊迫感を味わうことができない。でも、試合が終わったら声かけをすることなくさっさと帰るようにしている。結果を残せた感動やうまくいかなかった悔しい気持ちを邪魔したくないからだ。ひとり一人がそこで学ぶことが何よりも大切だと思っている。

～～～ 時の言葉 ～～～

ピッチャーはゲームを作る。  
バッターはゲームを決める。



大谷翔平  
(プロ野球選手)

言わずと知れた「二刀流」の大谷翔平選手のことは。多くの専門家が二刀流は無理だという中で、自らの道を切り開いていこうとする姿に感動します。投手としても打者としても超一流の選手であるだけに、言葉の重みも違います。

校長

全種目制覇の空手道部

キラ星祭と時同じくして様々な大会がありました。中でも浦高が誇る空手道部の活躍はあっぱれの一言に尽きます。

「第35回沖縄県高等学校空手道選手権大会」において、前代未聞の全種目制覇を成し遂げたのです。男子団体組手、女子団体組手、男子個人形、女子個人形、男子個人組手及び女子個人組手の全種目優勝です。

日頃の練習の成果を結果に残すことの難しさを、一番よく分かっているのは顧問の伊禮光国先生だと思います。本当にお疲れ様でした。そして、空手道部のみなさん完全制覇おめでとうございませう。

校長